

東由利町報

No. 228の① 昭和50年(1975)11月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K K本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)和昭42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況

人口総数	6,626
うち男	3,251
うち女	3,375
世帯数	1,501
面積	148.51

克雪管理センター
運営規則を公布
十二ヶ月前地区に完成した
克雪管理センターの管理運
営規則がこのほど公布され
管理人を設置することのほ
か次のように運営されるこ
とになりました。
冬の道路情報の収集伝
達および交通確保のほか住
民が主たる活動となる社会
教育団体および福祉団体等
の学習や育成活動などの場
たは特に町長の許可を受け
た場合に利用できる。
時間は原則として八時か
ら十七時まで。利用料は次
の区分による。●全館使用
五千元(七千五百円)●
大広間三千元(四千五百
円)●八畳五百円(七百
五十円)●厨房一人につ
き三十円。●入浴料同五
十円。(カコは冬季料金
)申込みは町公民館へ。

被表彰の四氏決まる

町功労者

晴れの
被表彰者
に選ばれ
たのは二
十四年間
にわたり
議会議員
の職にあ
つて地方
自治の発
展に尽く
された山
山忠太郎
氏、四十
有余年を
消防関係

式典は「文化の日」に



山山忠太郎氏



山山富男氏



阿部長一郎氏



故小松常太郎氏

被表彰者の業績
山山忠太郎氏「老万字」筆
二八。明治三十二年十二月九
日生(74歳)。昭和六年下郷

村議会議員に就任、以来通算
二十四年にわたり町勢の伸
展に貢献された。
この間土木常任委員長、副
議長の要職も歴任、戦中戦後
の混乱期を始め、町村合併の
多難な時期における新村計画
の策定など地方自治の伸長に
腐心、今日の町勢発展の基礎
づくりに尽力された。

阿部長一郎氏「蔵下横渡」
一三。明治三十八年二月七
日生(70歳)。大正十二年以
来昭和三十三年まで通算四十
有余年を本町内務課に勤務、こ
の間に本町内務の発展に専従
の伸長発展に寄与された。

昭和二十六年以来、三回に
わたって農林大臣より永年勤続
表彰を受賞されている。
故小松常太郎氏「田代字山」
王林二一。明治三十七年八月
二十五日生。昭和四十五年十
月七日没。遺族小松光清氏。

昭和二十八年玉村農業協同
組合長に就任、以来没年まで
の十七年間在職、この間組合
員を啓蒙して生産増進と家計
の健全化のため諸活動を推進
に尽力された。組合経営
基礎の整備に貢献され
た。
ほかに玉村協議会議員とし
て通算十年余を在職、地方自
治の伸長発展に寄与された。

「無火災記録」に水
四六六日目でストップ
町民の関心と期待の大きき
た本町の無火災記録が四百
六十六日目でストップ、町民
から残念がられている。
記録更新に水をさした火災
は、十月一日午後八時すぎ小
倉地内で発生、稲架にかけ
乾燥中の稲十間(約二十万
相当)が焼失、幸い人畜や建

十二年前推されて副町長の要職
に就任、旺盛な消防精神を発
揮して団員の指導育成に当
ったほか施設の充実に配慮を
加えるなど本町の民生安定に
貢献された。
他方、村議会議員、農業協
同組合理事、本町市東由利町
土地改良区理事等の要職も歴
任、町勢の伸長発展に寄与さ
れ本年四月には勲六等単光旭
日章に叙されている。

昭和二十六年以来、三回に
わたって農林大臣より永年勤続
表彰を受賞されている。
故小松常太郎氏「田代字山」
王林二一。明治三十七年八月
二十五日生。昭和四十五年十
月七日没。遺族小松光清氏。

昭和二十八年玉村農業協同
組合長に就任、以来没年まで
の十七年間在職、この間組合
員を啓蒙して生産増進と家計
の健全化のため諸活動を推進
に尽力された。組合経営
基礎の整備に貢献され
た。
ほかに玉村協議会議員とし
て通算十年余を在職、地方自
治の伸長発展に寄与された。

「無火災記録」に水
四六六日目でストップ
町民の関心と期待の大きき
た本町の無火災記録が四百
六十六日目でストップ、町民
から残念がられている。
記録更新に水をさした火災
は、十月一日午後八時すぎ小
倉地内で発生、稲架にかけ
乾燥中の稲十間(約二十万
相当)が焼失、幸い人畜や建

建設工事急ピッチ

降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

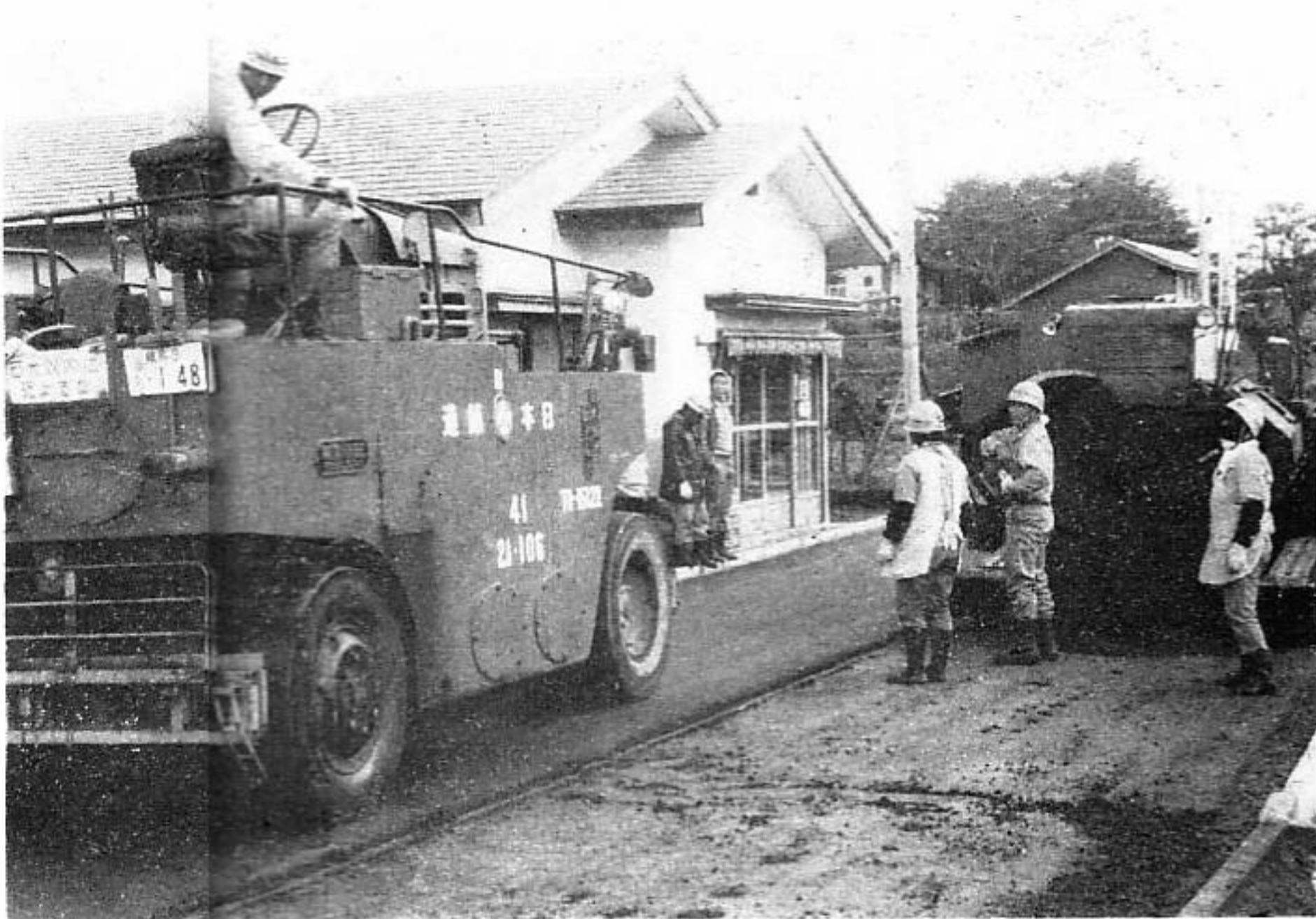
建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。



建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

建設工事急ピッチ
降雪期を間近に控え、町
内の各建設事業は急ピッチで
進められています。
蔵小学校特別教室の増築工
事は完成、玉米小体育館や公
民館建設工事も完成が目前と
なっています。

一般会計 10億円の大台に

新教育委員に伊東氏を選任
総額七千二百七十万円余の一般会計補正予算や教育委員人事な
ど八案件を審議する第三回議会定例会は九月三十日役場に招集され、
全案件を原案どおり決定、陳情二件を継続審査、一件を採択と決定し
て同日午後閉会しました。

災害復旧に四千万円追加
昭和五十年年度町一般会計予
算の歳入歳出それぞれ総額を
十億二千六百三十八万八千

災害復旧に四千万円追加
昭和五十年年度町一般会計予
算の歳入歳出それぞれ総額を
十億二千六百三十八万八千

災害復旧に四千万円追加
昭和五十年年度町一般会計予
算の歳入歳出それぞれ総額を
十億二千六百三十八万八千

災害復旧に四千万円追加
昭和五十年年度町一般会計予
算の歳入歳出それぞれ総額を
十億二千六百三十八万八千

災害復旧に四千万円追加
昭和五十年年度町一般会計予
算の歳入歳出それぞれ総額を
十億二千六百三十八万八千

激甚災害に指定

8月の集中豪雨や台風災害

激甚災害に指定
8月の集中豪雨や台風災害

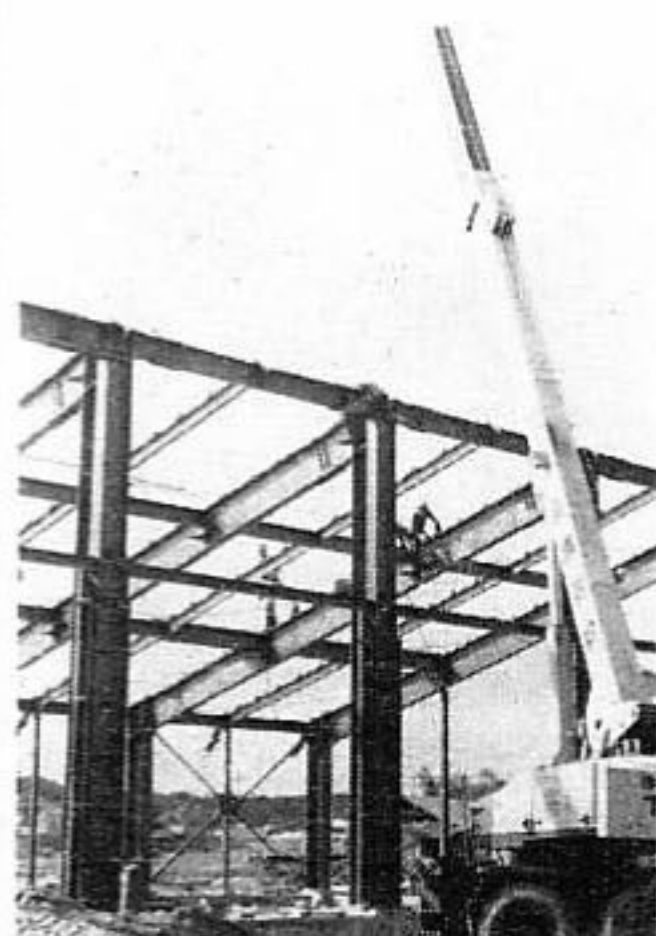
激甚災害に指定
8月の集中豪雨や台風災害

激甚災害に指定
8月の集中豪雨や台風災害

激甚災害に指定
8月の集中豪雨や台風災害

除雪車庫を建設

鉄骨造 除雪車庫を建設



役場東側には除雪車庫・
庁用自動車庫が相次いで建
設された 完成予定はいず
れも今月末

中甸に救急車を配備

要請は慎重に
本荘地区組合
消防署東由利分
署に、今月中旬
二つのベッドを
備えた救急車の
配備が予定され
業務が開始され
る見通しです。
これによって
現場到着時間が
これまでより大
幅に短縮される
ものとして町民
の期待を集めて
いますが、反面
で職員数が現員
のままであるた
めに、火災と同
時発生や救急出動中の火災に
対しては消防機能の低下する
ことが心配されています。
従って救急要請に当たって
はこれまで以上に、その適否
の判断を慎重にするようぞい
まれています。
なお四十九年中の本町への
救急出動件数は四十一件であ
り、本年は九月末現在です
に三十二件のほつていとい
言われます。

無火災記録に水

四六六日目でストップ
町民の関心と期待の大きき
た本町の無火災記録が四百
六十六日目でストップ、町民
から残念がられている。
記録更新に水をさした火災
は、十月一日午後八時すぎ小
倉地内で発生、稲架にかけ
乾燥中の稲十間(約二十万
相当)が焼失、幸い人畜や建

収穫皆無地の共済金

繰り上げ支払い実施
由利農業共済組合東由利出
張所(大坂幸助所長)では、
八月六・七日の豪雨災害によ
り収穫皆無となった町内の水
田一・九九畝について二十五
戸の関係農家に例年より
約二カ月繰り上げた十月下旬
総額百三十四万六千円を支払
い農家から喜ばれた。
同組合の損害評価結果によ
ると今回の支払い分を含めて
三割を超す部分の減収量は約
八十六に達し、その八八割
に当たる七十六畝が水害
によるものとなっています。
収穫皆無の分のぞいた本
町関係の水稲共済金は約一千
五百万円余りと予定され、同
組合県連合会の最終審査を経
て年内には各農家へ支払われ
る予定といわれています。

九日から防火週間

火の元検査や訓練実施
十一月九日から同十五日ま
で全県一斉の秋の火災予防運
動が展開されます。
期間中、町内では午前六時
と午後九時の二回サイレン
を吹鳴させるほか、東由利
分署職員や各分団員による火
の元的安全点検や水利の調査
を実施、不備な点については
即刻改善するよう指示を与え
ることにしています。
また、十五日には大槌地区
を中心に大がかりな火災想定
訓練を行うこととしており、
訓練のためのサイレンが鳴ら
されますが、火災と間違わな
いようのぞまれています。
なお、無火災記録は別項の
とおり四百六十六日目でビ
リオが打たれましたが、町で
は対象を「建造物」に限定し
て今後も引き続き記録を更新
し続けたい方針でいます。

教育委員二名を選ぶ

任期満了に伴い選任された
委員は佐藤松之助(宇戸坂66
歳、補欠委員は伊東知也(蔵
53歳) 敬称略。
なお補欠委員は、昨年選任
された佐藤次郎氏の辞任に
伴うもので任期は残任期間の
三年間(昭和五十二年九月末
まで)となっています。(教
育委員の任命について)
克雪管理センター
設置条例を制定
先般全容が完成した克雪管
理センターの設置や位置、委
任規定などを条例で規定した
もので、位置は法内字上苗代
の町教育委員二名の選任を次
のとおり行ったもの。

財産処分を決定

玉米財産区
玉米小学校体育館の建築資
金の一部として玉米財産区特
別会計より町一般会計へ繰り
出すため館宇エボ石地内の
同財産区有財産(スギ立木五
百五十二本内)を売却処分
することに決めた。(玉米
財産区有財産の処分)
玉米財産区管理委員会
佐藤氏ら七人を選任
本年十月十九日を以て四
年間の任期が満了することに
なった玉米財産区管理委員を
次のとおり選任したものの。
佐藤吉郎(館西70歳) /
小松孝雄(松沢63歳) / 渡
辺与七(時雨山63歳) / 八島
与四蔵(家ノ下69歳) / 佐藤
文一郎(下小屋60歳) / 横山
広一(向田49歳) / 佐藤公一
(大吹川53歳) 敬称略。

伊東知也氏

任期満了に伴い選任された
委員は佐藤松之助(宇戸坂66
歳、補欠委員は伊東知也(蔵
53歳) 敬称略。
なお補欠委員は、昨年選任
された佐藤次郎氏の辞任に
伴うもので任期は残任期間の
三年間(昭和五十二年九月末
まで)となっています。(教
育委員の任命について)
克雪管理センター
設置条例を制定
先般全容が完成した克雪管
理センターの設置や位置、委
任規定などを条例で規定した
もので、位置は法内字上苗代
の町教育委員二名の選任を次
のとおり行ったもの。

東田利町報

№ 228 の② 昭和50年(1975)11月1日

発行 秋田県東田利町役場 印刷 K K 本間印刷所
毎月1日発行(1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可

羽後交通(株)で
上京バスを運行

羽後交通(株)では、出
かせぎ就労者のための上京
バスを今年も今月四日から
同十七日まで次により毎日
運行することになっています
【出発地および出発時刻】
▽本荘営業所発 15時10分
▽横手営業所発 17時0分
なお、ほかに角館・大曲
・湯沢の各営業所および十
文字・ニューヤング前から
出発が予定されています
運賃はデラックスバスで
本荘・大曲地区から四千四
百五十円、横手・湯沢地区
から四千四百円となっています
上野公園口到着予定
は、いずれも午前六時です

電話一、五四三台に

次のとおり電話が新設さ
れ本町内の加入数は一千五
百四十三台となりました
▼克雪管理センター(十
二ノ前)三五〇〇番 ▼高
橋俊一(下小路)二四五九
番

対策に専任係を配置

情報収集と提供に奔走

本格的な出かせぎシーズンの到来です。町では「解消」
「を究極の目標に掲げながらも、当面する出かせぎの諸
問題に対応する態勢の強化をねらいに本年度から産経課
に専任の「出かせぎ対策係」を配置、安全就労を中心と
した種々の対策を講じ成果をあげつつあります。

前号で紹介した就労動向調
査や職安との連携による求職
活動などその一環ですが、そ
の後も出かせぎ合同選考会に
臨み、職安や事業所との連絡



真剣な表情で求職に当たる本町出かせぎ者(本荘市の合同選考会で)

安全確保の出かせぎを

県出かせぎ互助会 東京連絡所を訪問

情報を交換、対策要請

町では
佐美喜久出かせぎ互助会連絡
所長を訪ねた一行三名は、相
談員十名を含む所長以下十二
名のスタッフと会見、出かせ
ぎ求人システムのについて説
明をうけるとともに、出かせ
ぎ者の質について企業側から
きき出し、注目のあること知ら
されました。

都内の建設業界
県人を優先雇用
同東京連絡所では、求人情
勢が厳しいだけに連日のよう
に派遣、今季の出かせぎ情勢
について情報の交換と今後の
対策方を要請しました。

好条件で県内職場を確保

小松さんら集団就労の22人

厳しい情勢を反映、昨年ま
で毎年就労していた事業所か
ら求人中止の連絡をうけ、町
と緊密な連絡を取りながら集
団就労の求職活動を続けてい
た小松由夫さん(五海保)を
はじめた一部の人たちは週末
リーダーとする一行二十名
とに家に帰る「非常に働きや
りやすい職場であり、週一回ず
つ家に帰れるので留守家族のこ
とがあまり心配にならない」
と係に情報を寄せ、比較的
近いところにグループで職場
を確保できた喜びを語ってい
ます。

営農への心、常に

高橋さんが出かせぎ先で作った農用品の一部

年々農業の機械化が進んで
いますが、町内には立地条件
からどうしても人力に頼らざ
るを得ない場所も結構見られ
ます。
智者鶴の高橋精進さん(58
歳)は、出かせぎ期間中にそ
うした郷里の営農に想いを馳
せ、廃物を利用してこつこつ
と農用品を作り帰郷後に活用
しています。
元来手先が器用で、農用
のわら工品などを手がけて来
た高橋さんにとって、出かせ
ぎ先のゴルフ場造成現場で毎
日捨てられる芝を束ねた化繊
の紐がもったいないでならな
く、荷縄などを試作してまたこ
下検討を加えてもいます。

に当たったり、県出かせぎ互
助会東京連絡所を訪ね情報の
交換や事業所の実態把握につ
とめるなど、厳しい事態の打
開策を講じて来ましたが、
横手市での合同選考会に
本町内から60人も

本荘会場には町内百八十人

求人側は昨年の半数弱

九月末に出かせぎ合同選考
会が行われるという情報を入
手すると、直ちに「職安の紹
介で就労を希望する」とい
うアンケートの回答を寄せた
百九十二人を中心に、全出か
せぎ組合員に個別通知を発送
さらに役場通信など町内情報

十月三日、本荘市民体育館
で開催された合同選考会も、
横手会場同様、訪れた事業所
は二十数社と昨年の約半数に
過ぎず、然も大方の町民が望
んでいる関東方面はわずかに
社という状態で、こどもも厳
しいと言われる今季の出かせ
ぎ情勢をそのまま物語ってい
るかに感じられました。
一方、同会場を訪れた求職
者は二百八十五人(本荘職安
調べ)のぼり、その六十三
割に当たる百八十八人が本町の
求職者で占められました。
本町同様、出かせぎ者の多
い島海村や大内町の求職者数
が少いことから、本町求職者
の一部には「他町村の出かせ
ぎ者はすでに職場を決定した
のでないか」とする焦せり



出かせぎ相談員とともに相談に応ずる対策係(本荘市で)

人には例年とは比較にならない
ほどのきびしい条件のかせ
が多く、出かせぎ者自身の質
の向上に対する意識を高揚さ
せる必要のあることも知らさ
れました。
すなわち、①年令制限が強
化されたこと。②酒くせや素
行不良など他人に迷惑を及ぼ
しつては即刻解雇するとい
う条件提示があること。③出
かせぎ者の就労能力に応じて
賃金カットもあり得ること。
などであり、従来の出かせぎ
者意識に大きな反省を迫るこ
とももなっています。

反省しモラルの高揚を

悪評高い県人の「物品持ち帰り」

加えて宇佐美所長は「県出
身出かせぎ者は、帰郷時に事
業所の物品を盗んで持ち帰る
者が非常に多い」という悪評が
高い、結局それが求人開拓に
加えて宇佐美所長は「県出
身出かせぎ者は、帰郷時に事
業所の物品を盗んで持ち帰る
者が非常に多い」という悪評が
高い、結局それが求人開拓に

不信を招き、後の求職に支障

町では、こうした一連の求
職活動や関係機関との情報交
換に加え、景気浮揚策などに
より求人情勢が幾分好転の兆
しにあることから、ほとんど
の人たちが就労先を決定した

かせぎ対策係を始め、小松忠
亮、小松真一両出かせぎ相談
員も顔を寄せ、それぞれ熱心
に求職者にアドバイスを与え
るなど、当局と一体となった
関係者の熱意が職安や事業所
側から高く評価されました。

決定は44%だけ
集団就労が有利

結局、同会場では就労先を決
定したのは本町関係者の六十
三名を含む百二十六名(四十
四割)で、残る人たちが求職
の機会を以降へ持ち越しまし
た。

二十数社と、かつてない少
い求人事業所数に、希望する
職種等を見い出せなかったと
いう高橋健一さん(泡ノ淵)
は「情勢がこれまでとまった
く逆の、労働力の売り手市場
になってしまった」と。これ
は注文をつけることができな
い」と語り、阿部政雄さん(杉森)は「こういう時こそグ
ループ就労が有利、畑山重左
衛門さんをリーダーにかなり
の好条件で就労先が決定でき
た」と、厳しい中での就労
先決定を喜
んでいま
した。

各会場で
の合同選考
会の結果か
ら同時点で
は各事業所
が求人を手
控へ、経済
の好転景気
の回復を待
つ態勢にあ
ることが明
らかにされ
不況が根深
く深刻であ
ることを物
語っていま
した。

就労先変更です。
県出かせぎ対策係を始め各
職業安定所を通じて積極的に
求職活動を展開しているだけ
に、安易に就労先を変更する
ことは県人出かせぎ者の信用
失墜に結びつくことになり今
後の求職活動に大きな支障を
及ぼすことになりま

出かせぎ就労者の唯一の身
分証明書であり必携の要のあ
るのが「出かせぎ就労者手帳
」や互助会の会員証です。
町では互助会加入時に、手
帳所有の有無を確認、所有し
ていない人には直ちに交付す
ることにしており、この手帳
と出かせぎ互助会の会員証の
交付にあわせて、東田利協
と共同作成の「就労袋」を差
し上げることにしています。
これには、郷里との連絡用
の手紙セットやハガキ、それ
らに封入された各種資料や現
金封筒などが入っており、さ
らに封入された各種の資
料袋としても活用できるよう
になっています。

すべての出かせぎ就労者が
赴任前に必ず互助会に加入、
就労者手帳と就労袋の交付を
うけるようぞまられています。

町では、今季に一定期間す
つ県互助会の東京連絡所へ係
を派遣、問題の解決をはかる
ことなども検討中です。
郷里との連絡十分に
さらに、留守家族や町との
連絡を密接にし双方が常時安
心していられるよう心がける
ことも忘れられないことで

